

授業科目	栄養疫学特論 Nutritional Epidemiology			担当教員	今村 裕行		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>栄養疫学の目的は個人あるいは集団の健康問題や健康リスクを環境と人間側条件及び食生活・栄養に関わる要因から解析し、問題発生の予防やリスクの回避策を検討することにある。本特論のねらいは、それぞれの栄養問題・栄養リスクについて電算機を用いた統計学的解析法によって構造的な理解を試みる。更に、無作為標本抽出法・コホート研究法など疫学調査法の実施手技、電算機を用いての評価法などについて理解を進める。また Evidence Based Nutrition として栄養指導や生活改善の有効性の評価法についても理解を深めることである。</p>							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲・態度	個人あるいは集団の健康問題や健康リスクと、環境や食生活・栄養に関わる要因に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。			・グループディスカッション ・グループ発表	5% 5%		
思考・判断	統計的考え方、問題発生の予防やリスクの回避策などのいくつかのテーマについて、科学的に思考することができる。			・論文抄読	25%		
技能・表現	パソコンを駆使した多変量解析法ができる。			・パソコンを用いて多変量解析を行う	20%		
知識・理解	無作為標本抽出法・コホート研究法など疫学調査法の実施手技、電算機を用いての評価法などが理解できる。			・論文抄読 ・課題レポート	25% 20%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 論文抄読（50%）、パソコンを駆使した多変量解析法（20%）、グループディスカッション（5%）、グループ発表の参加・取り組み（5%）、課題レポート（20%）の割合で評価する。 論文抄読は、統計的考え方、問題発生の予防やリスクの回避策、無作為標本抽出法・コホート研究法など疫学調査法の実施手技、パソコンを用いて多変量解析を評価する（20%）、の評価法などについて論文を読む能力を評価する。第8回目に与えられた課題に対するグループディスカッションとグループ発表を行い、参加・取り組みを評価する。課題レポートは、グループ発表の内容を発展させた個人のレポートを評価する。 							
授業の概要							
<p>パワーポイントを用いて講義を行い、原著論文の講読も含めて、適時ディスカッションをしながら学生が自ら考える能力を養う。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない 参考書：抄読のための論文を配布する</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ol style="list-style-type: none"> 各授業の最後に論文・資料を配布し次回の講義テーマを伝えるので、専門用語の意味を理解しておくこと。 各自が選んだテーマに沿ったディスカッションを行い、その内容を発展させた個人のレポートを提出する。 遅刻3回は欠席1回、欠席6回で再履修となる。また、特別な事情を除き無許可での途中退席は不可とする。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	本特論の進め方について、オリエンテーションを行う	Evidence-based Nutrition を調べておく
2	Evidence-based Nutrition (1)	Evidence-based Nutrition の概念。次回の論文配布	Evidence-based Nutrition を復習し、栄養疫学統計を調べ、論文を読んでおく
3	Evidence-based Nutrition (2)	栄養疫学的統計の見方と使い方。講義と論文抄読	栄養疫学統計を復習し、論文を読んでおく
4	Evidence-based Nutrition (3)	栄養疫学的統計の見方と使い方。講義と論文抄読	栄養疫学統計を復習し、論文を読んでおく
5	Evidence-based Nutrition (4)	栄養疫学的統計の見方と使い方。講義と論文抄読	栄養疫学統計を復習し、他論文を読んでおく
6	Evidence-based Nutrition (5)	栄養疫学的統計の見方と使い方。講義と論文抄読	栄養疫学統計を復習し、食事記録法と思い出し法の論文を読んでおく
7	栄養調査法 (1)	食事記録法と思い出し法。講義と論文抄読	食事記録法を復習し、質問紙法に関する論文を読んでおく
8	栄養調査法 (2)	質問紙法。講義と論文抄読	質問紙法を復習し、簡易質問票に関する論文を読んでおく
9	栄養調査法 (3)	簡易質問票。講義と論文抄読	簡易質問票を復習し、標本数と有意性に関する論文を読んでおく
10	調査・解析の質 (1)	標本数と有意性の問題。講義と論文抄読	標本数と有意性の問題を復習し、断面研究における因果の逆転に関する論文を読んでおく
11	調査・解析の質 (2)	断面研究における因果の逆転。講義と論文抄読	断面研究における因果の逆転を復習し、観察研究における群間比較に関する論文を読んでおく
12	調査・解析の質 (3)	観察研究における群間比較の注意点。講義と論文抄読	観察研究における群間比較の注意点を復習し、調査方法の標準化に関する他の論文を読んでおく
13	調査・解析の質 (4)	調査方法の標準化。講義と論文抄読	調査方法の標準化を復習し、集団への指導と個人への指導に関する他の論文を読んでおく
14	栄養指導の評価 (1)	集団への指導と個人への指導。講義と論文抄読	集団への指導と個人への指導を復習し、指導と評価の関係に関する他の論文を読んでおく
15	栄養指導の評価 (2)	指導と評価の関係。講義と論文抄読	指導と評価の関係を復習し、総合討論の内容について考えておく